

平成 30 年度 杉循環器科内科 病院指標

[医療法における病院等の広告規制について\(厚生労働省\)](#)

1. [年齢階級別退院患者数](#)
2. [診断群分類別患者数等\(診療科別患者数上位5位まで\)](#)
3. [初発の5大癌の UICC 病期分類別並びに再発患者数](#)
4. [成人市中肺炎の重症度別患者数等](#)
5. [脳梗塞の患者数等](#)
6. [診療科別主要手術別患者数等\(診療科別患者数上位5位まで\)](#)
7. [その他\(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率\)](#)

年齢階級別退院患者数[ファイルをダウンロード](#)

年齢区分 0～ 10～ 20～ 30～ 40～ 50～ 60～ 70～ 80～ 90～

患者数 0 0 3 6 35 59 184 286 423 213

平成 30 年度に当院を退院された患者さん 1,209 人を 10 歳刻みの年齢階級別に集計しております。

半数以上が 80 歳以上の患者さんとなっております。

診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)[ファイルをダウンロード](#)

循環器内科

DPC コード	DPC 名称	患者数	平均 在院 日数 (自 院)	平均 在院 日数 (全 国)	転院 率	平均 年齢	患者 用 パス
050050xx99100x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等 11 あり 手術・処置等 2 なし 副傷 病なし	137	3.49	3.01	2.19	70.46	
050130xx99000x	心不全 手術なし 手術・処置 等 1 なし 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	129	24.07	17.66	12.40	80.59	
050050xx02000x	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手	115	6.08	4.47	0.87	71.95	

術・処置等なし、1.2あり 手
術・処置等 2 なし 副傷病なし

循環器内科の最も多い症例は、狭心症などに対する心臓カテーテル治療のための入院及び治療前後の心臓カテーテル検査のための入院と
なっています。

次に多い症例は、心不全治療の患者さんです。対象の患者さんは、平均 80.59 歳と高齢であり、在院日数も 24.07 日と全国平均を上まわっています。

腎臓内科

DPC コード	DPC 名称	患者数	平均 在院 日数 (自 院)	平均 在院 日数 (全 国)	転院 率	平均 年齢	患者 用パ ス
110280xx 99000x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・ 慢性腎不全 手術なし 手術・処置 等 1 なし 手術・処置等 2 なし 副傷 病なし	9	38.22	12.05	33.33	79.00	
110280xx 99010x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・ 慢性腎不全 手術なし 手術・処置 等 1 なし 手術・処置等 2 1 あり 定 義副傷病なし	4	24.75	14.21	25.00	78.75	

腎臓内科の最も多い症例は、慢性腎不全増悪の精査・加療目的となっております。
平均年齢は、79 歳と高齢になっております。平均在院日数は、約 38 日と全国平均の
12 日と大幅に上まわっております。

初発の5大癌の UICC 病期分類別並びに再発患者数[ファイルをダウンロード](#)

	初発					再発	病期分類 基準(※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	0	0	0	0	1	0	1	7
大腸癌	0	0	1	0	2	0	1	7
乳癌	0	0	0	0	0	0	1	
肺癌	0	0	0	1	0	0	1	8
肝癌	0	0	0	0	0	0	1	

※ 1:UICC TNM 分類, 2:癌取扱い規約

当院においては、循環器内科・腎臓内科を中心とした治療を行っているため癌症例は、他院と連携をとり行っています。

成人市中肺炎の重症度別患者数等[ファイルをダウンロード](#)

	患者数	平均 在院日数	平均年齢
軽症	8	15.13	66.00
中等症	56	24.48	87.50
重症	3	15.67	81.33
超重症	1	17.00	91.00
不明	0	0.00	0.00

肺炎の症例は、平成 28 年度 48 人、平成 29 年度 63 人、平成 30 年度 68 人と年々増加傾向にあります。

中等症以上の疾患平均年齢は、86 歳前後と高齢となっております。

脳梗塞の患者数等[ファイルをダウンロード](#)

発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
3 日以内	8	47.25	85.25	33.33
その他	7	50.86	73.57	20.00

脳梗塞の患者数は、保存的な加療となることが多く、在院日数も 47.25 日と長くなっています。

急性期の治療が必要と判断された場合は、専門的な治療を行う医療機関に紹介をしております。

診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)[ファイルをダウンロード](#)

循環器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術(その他)	103	2.45	4.83	2.91	72.64	
K5491	経皮的冠動脈ステント留置術(急性心筋梗塞)	46	0.02	17.09	4.35	71.85	
K5972	ペースメーカー移植術(経静脈電極)	36	7.42	16.56	13.89	80.22	
K5492	経皮的冠動脈ステント留置術(不安定狭心症)	27	0.19	19.07	11.11	70.89	
K5463	経皮的冠動脈形成術(その他)	11	3.27	3.64	0.00	74.09	

当院では、虚血性心臓病の患者さんに対して冠動脈形成術を行っております。手術件数は、年々増加しており、年間200件を超えております。急性期には観血的な治療、点滴および内服の治療、リハビリを行い、慢性期には内服治療に加え、内服、栄養、運動療法等の包括的治療を行っております。また、ペースメーカー植え込み術の施行数も平成29年度21件、平成30年度36件と増加しています。

腎臓内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K616-4	経皮的シャント拡張術・血栓除去術	1	3.00	64.00	0.00	83.00	

透析患者さんのシャントに対する経皮的シャント拡張術を積極的に行っております。入院加療ではなく、日帰りにて施行しております。その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)[ファイルをダウンロード](#)

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	0	0.00
		異なる	2	0.17
180010	敗血症	同一	0	0.00
		異なる	0	0.00
180035	その他の真菌感染症	同一	0	0.00
		異なる	0	0.00
180040	手術・処置等の合併症	同一	6	0.50
		異なる	0	0.00

透析治療入院やシャント拡張術目的入院は少なくなっており、合併症の発生率も減少しています。

合併症については、事前に本人・家族の方々に説明をした上で同意を得て実施しております。

更新履歴